

平成 29 年度ユネスコスクール年次報告書

1. 学校概要

学校名 学校法人 明星学園 清泉幼稚園 (※正式名称を記載)
種 別 ☒ 保育園・幼稚園 ☐ 小学校 ☐ 小中一貫※注1
☐ 中学校 ☐ 中高一貫※注2 ☐ 高等学校
☐ 教員養成大学 ☐ 専修学校、各種学校
☐ 特別支援学校
☐ その他(例: 小中高一貫)
※注1 義務教育学校を含む ※注2 中等教育学校を含む
所在地 〒051-0036
北海道室蘭市祝津町3丁目10番7号
E-mail seisen@lilac.plala.or.jp
Website <http://www16.plala.or.jp/seisens/>
幼児児童生徒数 男子 52 名 女子 44 名 合計 96 名
幼児・児童・生徒の年齢 3 歳～ 5 歳

2. 報告期間

平成 29 年 4 月～平成 30 年 3 月

※報告書提出時点～平成 30 年 3 月末までの活動は、予定(見込み)として記載ください。

3. 活動内容

※記入にあたっては、末尾の留意事項も確認ください。

(1) 活動の概要(800字程度+活動内容を表す写真数枚)

※チェック事項 1-1、2-1 に対応

当園は、「みんなちがってみんないい」を教育理念のテーマとして、ESDを小さな幼稚園の子どもでも出来ることを少しずつ取り組んでいこうと、ESDの実践を通して豊かな感性と、たくましさ、人としての根の部分の部分をたくたくましく型作っていけることを目標とした。

具体的には、環境教育、国際理解、地域交流を柱に、①収集・美化・栽培・廃品の再利用・飼育・木育に係わる活動、②英語遊び・日本文化理解に係わる教育、③介護老人保健施設との交流、地域住民事業所との交流活動・挨拶運動を行った。

① 環境教育に係わる活動

(1) リングプル・エコキャップ

お家の方々も協力して下さり、集まった物を近隣の高校に届け、高校生にバトンタッチ。地域の交流にもなり、小さな子どもにとって一番取り組みやすい活動として定着しています。卒園生なども集めて持ってきてくれます。

(2) 古切手収集

日本や海外の切手コレクターに買ってもらいます。キロ単位で1kgが1000円位になり、そのお金を発展途上国に寄付します。

(3) 書き損じハガキ

切手付・未投函葉書で書き間違えたり、余ったりして使われていないものを集めます。それをお金に替えて切手同様、発展途上国に寄付します。

(4) 古い眼鏡収集

何人もの途上国の人たちや子どもたちが、眼鏡が無いことで、仕事・勉強・生活などに支障をきたし困っています。みんなが使わなくなった眼鏡で誰かが明るい毎日を送ることが出来ることを願い、家庭の協力を得て続けています。

②国際理解に係わる活動

英語講師による、英語遊びの取り組み。英語というなじみのある言語を楽しむことができ、その他にも世界各国の挨拶の言葉を各月のテーマとして決め、その国の言葉や料理・文化遺産などを調べ多くの国の現状に目を向けることができた。

③地域交流に係わる活動

地域の老人施設訪問。発表会で練習した歌や遊戯を施設に訪問し、披露したり入居者の方々が園を訪問してくださり日本伝統の遊び（お手玉・あやとり等）と一緒に遊び、日本文化に触れる遊びを体験することができた。その他にも、七夕やクリスマス・雛祭りなど、地域事業所へ飾り付けを行い、触れ合いを深めることができた。



① の写真 (キャプション)



② の写真 (キャプション)



③ の写真 (キャプション)

④ の写真 (キャプション)

(2) 活動の詳細

① 活動内容

※チェック事項 1-2, 2-1 に対応

ア. 活動分野（複数選択可）

<input checked="" type="checkbox"/> 1. 環境	<input type="checkbox"/> 2. エネルギー	<input type="checkbox"/> 3. 防災	<input type="checkbox"/> 4. 生物多様性
<input type="checkbox"/> 5. 気候変動	<input checked="" type="checkbox"/> 6. 国際理解、文化多様性	<input type="checkbox"/> 7. 地域の伝統文化、文化遺産	<input type="checkbox"/> 8. 人権・平和
<input checked="" type="checkbox"/> 9. 健康・福祉	<input checked="" type="checkbox"/> 10. 食育	<input type="checkbox"/> 11. 持続可能な生産と消費	<input checked="" type="checkbox"/> 12. 貧困
<input type="checkbox"/> 13. エコパーク	<input type="checkbox"/> 14. ジオパーク	<input type="checkbox"/> 15. グローバルシチズンシップ教育 (GCED)	
<input type="checkbox"/> 16. ジェンダー平等	<input type="checkbox"/> 17. その他()		

イ. 活動を通して育みたい資質や能力（複数選択可）

<input type="checkbox"/> 1. 批判的に考える力	<input type="checkbox"/> 2. 未来像を予測して計画を立てる力
<input type="checkbox"/> 3. 多面的、総合的に考える力	<input checked="" type="checkbox"/> 4. コミュニケーションを行う力
<input checked="" type="checkbox"/> 5. 他者と協力する態度	<input checked="" type="checkbox"/> 6. つながりを尊重する態度
<input checked="" type="checkbox"/> 7. 進んで参加する態度	
<input type="checkbox"/> 8. その他(自由記入)	

ウ. 活動時間（複数選択可）

<input checked="" type="checkbox"/> 1. 教科の時間	<input checked="" type="checkbox"/> 2. 総合的な学習の時間
<input checked="" type="checkbox"/> 3. 特別活動等	<input type="checkbox"/> 4. クラブ活動
<input type="checkbox"/> 5. その他(自由記述)	

エ. 使用した教材（書籍、ウェブサイト、パンフレットなど具体名）

--

- ② ユネスコスクールとしての活動を各校の教育課程（指導計画）にどのように位置付けているか。指導内容を適切に定め、指導方法の工夫改善に努めているか。（２００～３００字程度）

※チェック事項 1-2, 1-3 に対応

年間指導計画に基づき、各月ごとに取り組むねらいを定めて、指導を行っています。

異年齢での活動を通し、互いを思いやる気持ちや憧れの気持ちが育ってきている。年長児しかできない活動などもあり、次は自分たちの番だという責任も生まれてきている。

園全体でも、絵本なども積極的に取り入れ、小さい子供たちでもわかりやすいように、水や電気の使い過ぎ、お弁当や給食などの食育についても食べ残しなどにも意識が芽生えてきている。

その他にも、緑のカーテンや菜園活動での食育への取り組み、ハロウィンでは、春からかぼちゃの種を植え育て１０月にはランタンを作り異文化への体験にも役立てている。

- ③ 学校全体で組織的かつ継続的に活動に取り組める体制や環境をつくるため、どのような取組を行っているか。（２００字程度）

※チェック事項 1-4 に対応

幼稚園お手紙やブログによる発信。幼稚園そばに農園の移設を行い、子どもたちが身近に自然環境と触れ合う機会が増え、また食育にもつながる取り組みも増えた。様々な方面において教職員がユネスコスクールの意識を高く持ち活動の中で、廃材を使った商品作りのお店屋さんごっこや種から花を育て、秋には花を収穫し染め物を行い、タペストリー制作など、各テーマにおける活動が広がった。

- ④ ユネスコスクールとしての活動の質の向上のための学校活動の評価（内部/外部）の方法・具体的内容と、それによって明らかになった成果と課題。（２００字程度）

※チェック事項 1-5 に対応

教職員全体で学校評価、個人評価を発表し教職員のユネスコスクールとしてESDを通して子ども育てる意識が高まった。豊かな体験を積み重ねていくために必要な環境作りや地域のことをもっと知ってもらうために、色々なところへ足を運び、目で見たり手で触れたり、感じたり体験をたくさんさせる環境づくり、そしてこれからも小さな子供でもできることを摸索しながら、新たな取り組みを考えていくことが課題。

- ⑤ ESD の推進拠点としての活動成果の発信方法・内容と、発信により得られた効果。(200字程度) ※チェック事項 2-2 に対応

幼稚園ブログやお手紙・入園冊子にユネスコスクールの取り組みや内容としてについて発信を行っており、ESD活動を通して『相手の気持ちや立場の理解』することを覚え、当園の教育方針である『思いやりの心、人を愛する心』など、『心』を育むことに大きく役立って得られた成果と考えています。

- ⑥ 学校以外の団体との協働・交流・ネットワーク形成(地域コミュニティ、大学、ESD活動支援センター、ESDコンソーシアムとの連携など)
(200字程度)

※チェック事項 2-3 に対応

社会福祉協議会の主催する歳末助け合い演芸大会の出演(チャリティー共同募金)やライオンズクラブとの共同収集活動の展開を行っています。

- ⑦ 国内外のユネスコスクールとの交流・ネットワーク形成(200字程度)

※チェック事項 2-4 に対応

ユネスコ・フォーラム開催

毎年、1年間の活動報告会を市内のユネスコスクールが集まって行います。ユネスコ・フォーラムを行うことで、加盟しているスクールとの絆が強まり、またお互いに刺激を受けあいます。

- ⑧ ユネスコスクールの活動による効果について、特筆すべき（特に強調したい）内容（例えば児童生徒、教員、カリキュラム・教授法、学校経営、地域・保護者との関係など様々な面でのポジティブな変化）（200字程度）
※チェック事項 2-5 に対応

年間計画を立てる上で、12ヶ月分の国を決めてその国の挨拶を職員に配布し、クラスの朝の会で国の挨拶を取り入れた。園内放送でも、月ごとの挨拶を取り入れた。その中で、その国について調べるように伝え、各家庭にも協力をもらいながら、調べたことを紹介したり、廊下に張り出しを行ったところ、興味を示す子どもたちが増え、感心する心を育んだ。

（3）平成30年度の活動計画（200～400字程度）

- ・ リングブル、エコキャップ収集の継続
- ・ 地域の老人施設訪問
- ・ 他団体との共同収集（古切手、書き損じ葉書・古眼鏡収集）
- ・ ユネスコフォーラム出席
- ・ 歳末助け合い共同募金活動
- ・ 歳末助け合い演芸大会出演（チャリティー募金）
- ・ 緑のカーテン作りや緑増やす活動を微力ながら挑戦

ユネスコ活動を通して、人間としての基礎の部分を大切にし、本気で遊んで自ら進んで積極的にチャレンジしていくことで、『生きる力』を身に着け人としての『根の部分』をたくましく形作っていける活動を摸索しながら計画しています。